



腹膜透析

自宅でも透析できるって

ご存知ですか？ ①



1. 自宅でもできる透析とは？

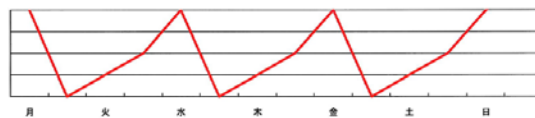
在宅透析には、腹膜透析(PD)と在宅血液透析(HHD)があります。約28万人の透析患者のうち、1万人ほどがPD、200人弱がHHD、残り約27万人と圧倒的多数が、施設での血液透析(HD)という実態です。PDは、毎日在宅で連続的に透析することにより、体のバランスが一定に保たれ、血圧など循環動態が不安定な患者さんに適する療法とも言われています。食事制限も比較的少なく済み、QoLも高いと評価されています。また、在宅での自己管理の為、通院回数も少なく、仕事、学校生活などで、自由度の高い社会生活が期待できる透析療法です。

腎代替療法

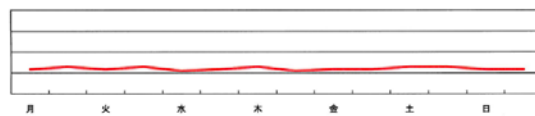
- 施設血液透析(HD)
- 在宅透析
 - 在宅血液透析(HHD)
 - 腹膜透析(PD)
- 腎移植

HDとPDの比較 - 1週間の老廃物、体液の変動(イメージ図)

HD (1回4 - 5時間、週3回の間歇的療法)



PD (原則1日24時間の連続的な療法)



HDと比較してPDは原則24時間の連続的な療法なので、体内の老廃物、体液の変動はより少ないと言えます。

2. 腎臓の主な働きとPD療法の概要

残存腎機能を出来るだけ維持した方が血圧の調節、エリスロポエチンの分泌など生体機能の維持にとって有用です。腹膜透析は残存腎機能を血液透析よりも長く維持できる透析療法です。

【排泄】 → 透析療法で代償できるもの

- 老廃物の除去
- 水分の調節
- 酸・塩基のバランス調整
- 電解質の調節

【分泌】 → 透析療法では代償できないもの

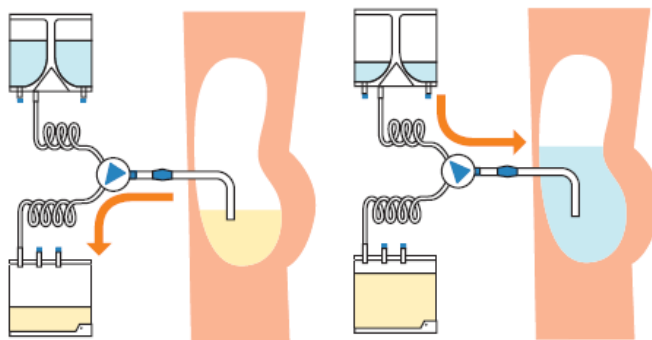
- 血圧の調節(レニンの分泌)
- エリスロポエチン(EPO)の分泌
- ビタミンDの活性化

⇒ これらは主に薬剤で対処

1日3~5回 腹膜透析液を、おなかに挿入したカテーテルを通して注入します。一定時間後に腹膜を介し、拡散と浸透の原理により透過してきた老廃物と余分な水分を一緒に排液します。その後、次の透析の為に、新たな腹膜透析液を注入することを繰り返します。

排液:
透析液を体の外に出す

注液:
新しい透析液をおなかの中に(腹腔内)に入れる



残存腎機能を維持する事により、排泄だけでなく分泌機能も維持できます。

3. 腹膜透析患者さんの一日

— CAPDの場合 —



CAPDを行うには通常1.5~2Lの透析液をおなかの中に入れ一定時間貯留しておいた後に排液します。この操作をバッグ交換と言い、1日3~5回程度繰り返します。液量や回数はあなたの体格・体調・検査データなどにより決定されます。1回のバッグ交換は、あなたの生活のリズムに合わせて自宅や職場で行うことができます。そして、バッグ交換時間以外は自由に活動できます。

— APDの場合 —

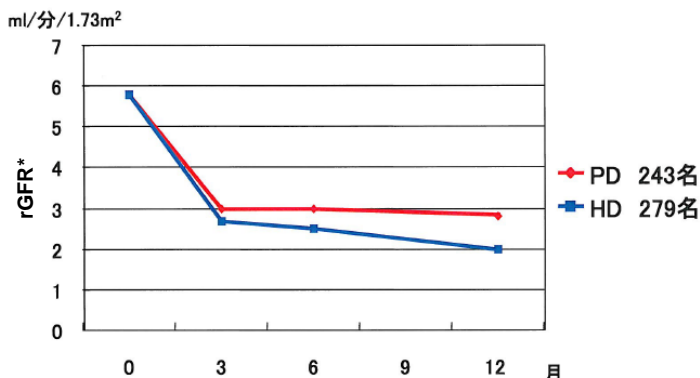


生活スタイルや腹膜の機能によってAPD (Automated Peritoneal Dialysis: 自動腹膜灌流)療法を選ぶことができます。APDは、注液・排液をサイクラーという装置を用いて睡眠中に行う腹膜透析療法です。これにより、透析効率の改善を図れたり、昼間のバッグ交換回数を減少させたりしてQoL(生活の質)向上にもつながります。また介助者の負担軽減にもつながります。

4. PD療法の臨床成績

残存腎機能の維持

12ヶ月の期間において、PD患者群では、rGFRで見た残存腎機能が、HD患者群よりも維持されています。



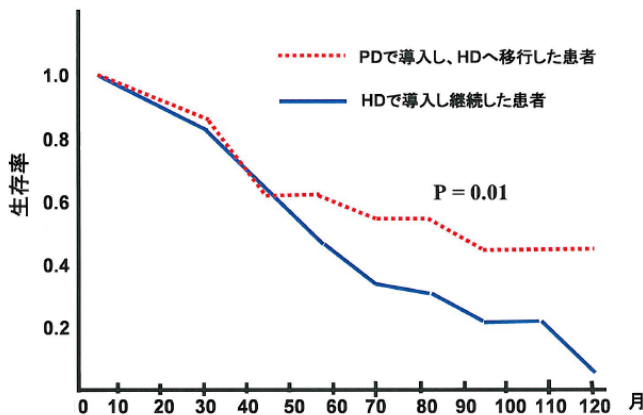
(年齢、性、原疾患、合併症、降圧剤、血圧、BMI、血中尿素窒素・クレアチニン・アルブミン値、透析開始時腎機能、尿量、尿蛋白量で補正した2群間の前向き比較試験)

* rGFR(residual glomerular filtration rate)

参考文献: Jansen M.A.M, et al., - NECOSAD study group: Kidney Int 62, 1046-1053, 2002

生存率の改善

120ヶ月の期間において、PDで導入しHDへ移行した患者群の方が、最初からHDで透析を開始した患者群よりも生存率が高いことが報告されています。



参考文献: Van Biesen W, et al., J Am Soc Nephrol, 11: 116-125, 2000

腹膜透析に関する疑問

Q:在宅で行うということですが、自分で出来るようになりますか？

A: 医療機関で、一定期間適切なトレーニングを専任のスタッフから受けた後に、在宅療法に移行します。

Q:腹膜炎などの合併症の可能性はないのですか？

A: 医療機関のほうから導入前に説明がなされます。カテーテルや出口部の管理など合併症を防止する指導がなされます。

Q:使用した透析液バッグはそのまま家庭ゴミとして捨てられますか？

A: 各自治体の分別方法に合わせて、ゴミ収集所に捨てましょう。
自治体により判断が異なる場合は、医療機関にご相談下さい。

Q:温泉には入れますか？

A: 入浴方法に関しては、トレーニングの際に、医療機関から指導がなされます。公衆浴場や温泉でも、様々な工夫をしながら、入浴を楽しむ患者さんがいらっしゃいます。



Fresenius Medical Care

フレゼニウス メディカル ケア ジャパン株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門五丁目13番1号
Tel. 03-6809-1561 Fax. 03-6809-1568
<http://www.fresenius.co.jp>